

2026年3月24日

各位

平和不動産株式会社

日本橋茅場町の屋上菜園 Edible KAYABAEN（エディブル カヤバエン）が 東京都都市緑化基金賞 街かど緑化部門「最優秀賞」を受賞

平和不動産株式会社（本店：東京都中央区、代表執行役社長：土本 清幸、以下「当社」）は、日本橋兜町・茅場町の街づくりの一環で開発を進め、2022年4月にオープンした「Edible KAYABAEN」（以下「カヤバエン」）が、東京都都市緑化基金賞（主催：東京都都市緑化基金）街かど緑化部門「最優秀賞」を受賞し、贈呈式で表彰されましたのでお知らせいたします。



カヤバエンは、「Edible（食べられる）KAYABA（茅場町）EN（えん：円・縁・宴・園）」の思いを込めた屋上菜園です。分断が進む時代にも「育てる・食べる」を中心に人々が本物のコミュニティを築き、子どもたちが生きる力を育む場を創出しています。ビルから出る生ごみや日射、荷重制限などの条件をクリアしながら、多層的な植栽と小さな生態系を創出し、子どもたちにとっての自然体験の場として、広がる「食べられる森」へ成長し続けています。

また、メンバーシップ制度を設けており、活動に共感し、活動を応援していただいている企業と共に、オフィスワーカーや子どもたちが楽しめ、それぞれがつながることができる交流の場となる空間を創り出すことで、「誰もが”居場所”を持てる街づくり」に取り組んでおります。

いちよし証券株式会社（本社：東京都中央区、取締役（兼）代表執行役社長：玉田 弘文）、フジ日本株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：曾我 英俊）、株式会社白水社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山口 真一）、三菱倉庫株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：齊

藤秀親)、東京証券信用組合(本社:東京都中央区、理事長:八尾 和夫)の5社をメンバーシップ企業としてお迎えし、ご理解とご協力のもと、中央区立阪本小学校への授業提供を行っております。

東京都都市緑化基金賞とは

「東京都都市緑化基金賞」は、緑を活用したまちづくり、コミュニティ醸成、緑や花を通じた人々を豊かにする活動など、地域や人々への貢献や継続した緑化活動の功績をたたえます。

これまでの皆様のご支援とご協力に感謝するとともに、より多くの皆様に東京都都市緑化基金の取り組みを知ってもらえるように、東京都都市緑化基金40周年記念事業の一環として「東京都都市緑化基金賞」を募集し、全体で50件の事業の応募がありました。

● 募集部門

(1) 「街かど緑化部門」

これまでに東京都都市緑化基金「街かど緑化支援」の助成を受けた緑化施設

(2) 「花壇・庭づくり部門」

これまでに東京都都市緑化基金「花壇・庭づくり活動支援」の助成を受けた緑化活動

(3) 「まちなか緑化士部門」

東京都都市緑化基金「まちなか緑化士講座」等の講座の修了生が関わった緑化活動

主 催: 東京都公園協会 東京都都市緑化基金

● 基金 40th 「東京都都市緑化基金賞」受賞事業が決定

https://www.tokyo-park.or.jp/public/greening/news/2026/40th_1.html

● 東京都都市緑化基金とは

東京都都市緑化基金は、東京に緑を増やすための基金です。

緑豊かな街づくりを目指し都民の皆様と一緒に都内の民有地の緑を増やすことを目的として昭和60年(1985年)に東京都公園協会内に設立され、今年度で設立40周年を迎えました。東京都都市緑化基金では、皆様からいただいた寄付・募金を活用して事業を実施しています。より透明性を高めるため、「東京都都市緑化基金運用委員会」にて、事業内容を審議しています。

Edible KAYABAEN とは

カヤバエンは建物の屋上を有効活用することで、「食」についての持続可能な地域循環の実現と教育の実践、それに豊かな地域社会に向けた貢献に寄与する場となることを目指しておりますが、特に、子どもたちの食育体験の場の創出として、一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパン(本店:東京都中央区、代表:堀口 博子)(以下、「ESYJ」)が取り組む“育てる、食べる”ことを通して生きる力を育む「エディブル・エデュケーション」による自然学校「アーススコール」を実施しています。ESYJが牽引する菜園教育は、都心に住む土に触れる機会の少ない子どもたちにとって貴重な学びの庭となることでしょう。なお、その独自の教育プログラムを体験できるオフィスビルは日本では初めてとなります。

また子供だけでなく、地域住民やオフィスワーカー等の大人も楽しめるイベントも毎月開催しております。



● カヤバエン概要

所在地：東京都中央区日本橋茅場町1-5-8 東京証券会館屋上
交通：東京メトロ東西線・日比谷線「茅場町駅」8番出口直結
開始日：2022年4月
敷地面積：約600㎡
設計：本間 フィル・キャッシュマン、株式会社ユニバーサル園芸社
施工：株式会社ユニバーサル園芸社
運営管理：一般社団法人エディブル・スクールヤード・ジャパン、株式会社ユニバーサル園芸社
ホームページ：<https://ediblekayabaen.jp/>

カヤバエンに関する受賞歴

- ・2023年3月7日付プレスリリース
[『「Edible KAYABAEN \(エディブル カヤバエン\)」 第3回グリーンインフラ大賞 都市空間部門「優秀賞」を受賞』](#)
- ・2023年10月5日付プレスリリース
[『日本橋兜町・茅場町における再活性化への取り組みが4年連続グッドデザイン賞を受賞』](#)
- ・2025年10月23日付プレスリリース
[『日本橋茅場町の屋上菜園 Edible KAYABAEN \(エディブル カヤバエン\) が第45回緑の都市賞「都市緑化機構会長賞」を受賞』](#)

SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

当社は、“Bazukuri Company”としての活動により、環境・社会課題の解決に取り組み、各ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを通じて満足度を高めることで、サステナブルな社会の実現に貢献します。



平和不動産は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

日本橋兜町・茅場町街づくりビジョン2040

NIHONBASHI KABUTOCHO & KAYABACHO VISION 2040

投資を、そして感性を一步先へ。
この街から、新しい風を。

決沢栄一らがひらいた株式マーケットの街は、
日本経済の中心で歴史を紡いできた。
この街がまとう「コトはじめ」の文化を未来につないでいくために、
これからの日本橋兜町・茅場町は、投資と成長をライフスタイルに変えていく。
金融をアップデートし、国内唯一のインベストメント・シティへ。
そして、さらにひろがりのある街へ。
もっと投資をカジュアルに、もっと街をカラフルに。
多彩な個性が行き交い、クリエイティビティが高まる。
化学反応が起こり、大小さまざまなイノベーションが生まれる。
ビジネスだって、遊びだって楽しめる場を、みんなでつくろう。
人々の感性を刺激する、世界のどこにもない場づくりを、この街から。



● 日本橋兜町・茅場町 情報発信サイト

Kontext : <https://kontext.jp/>

兜 LIVE! : <https://kabuto-live.com/>

FinGATE : <https://www.fingate.tokyo/>

Kontext



兜 LIVE!

FinGATE

会社概要

当社は、我が国の金融マーケットの中核的機能・役割を担う東京、大阪、名古屋、福岡を始めとする証券取引所ビルのオーナーとして、1947年に設立され、場づくりを積み重ねることで街を彩ってきました。平和不動産グループの仕事に共通する根源的な価値は、さまざまな場づくりを通して、人々を惹きつけ未来に豊かさをもたらすこと。私たちはグループ一丸となって、魅力的な場づくりを展開します。

会社名：平和不動産株式会社

設立日：1947年7月

代表者：代表執行役社長 土本 清幸

本社所在地：東京都中央区日本橋兜町1番10号

会社HP：<https://www.heiwa-net.co.jp/>

以上

本件に関するお問い合わせ先

平和不動産 PR 事務局（株式会社イニシャル内）担当：横山、古屋、西野

TEL：03-6821-5730 FAX：03-5572-6065

MAIL：heiwa_pr@vectorinc.co.jp